



内閣府
男女共同
参画局

講義⑨理工チャレンジの取組について

令和5年11月

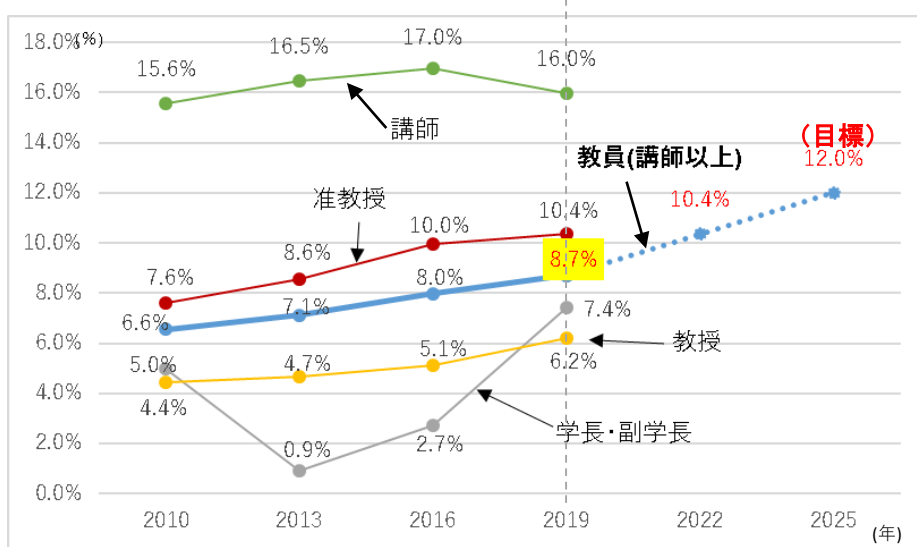
内閣府男女共同参画局 推進課

第5次男女共同参画基本計画の成果目標と現状

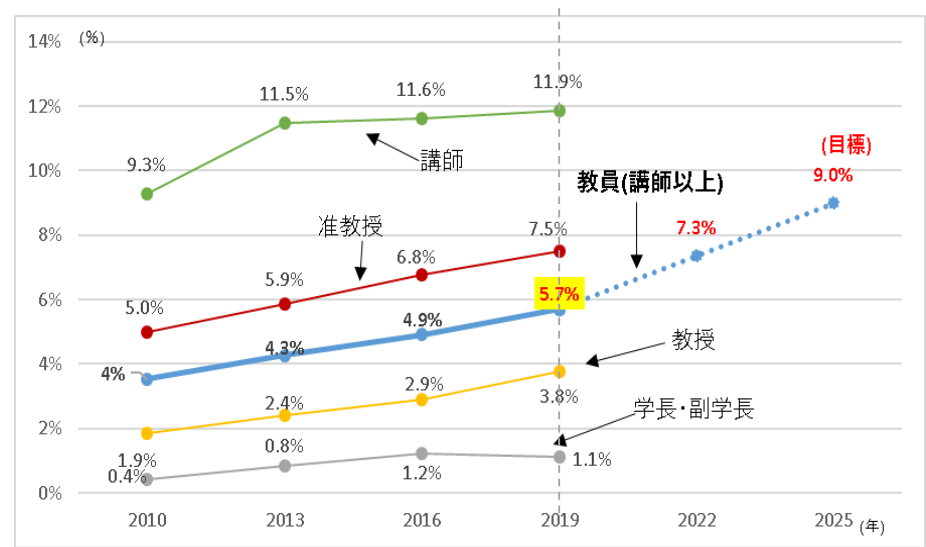
項目	成果目標（期限）
①大学の理工系の教員（講師以上）に占める女性の割合	理学系：12.0%、工学系：9.0%（2025年）
②大学の研究者の採用に占める女性の割合	理学系：20%、工学系：15%、 農学系：30%、医歯薬学系：30%、 人文科学系45%、社会科学系：30%（2025年）
③大学（学部）の理工系の学生に占める女性の割合	前年度以上（毎年度）

①大学の理工系の教員（講師以上）に占める女性の割合

【理学系】



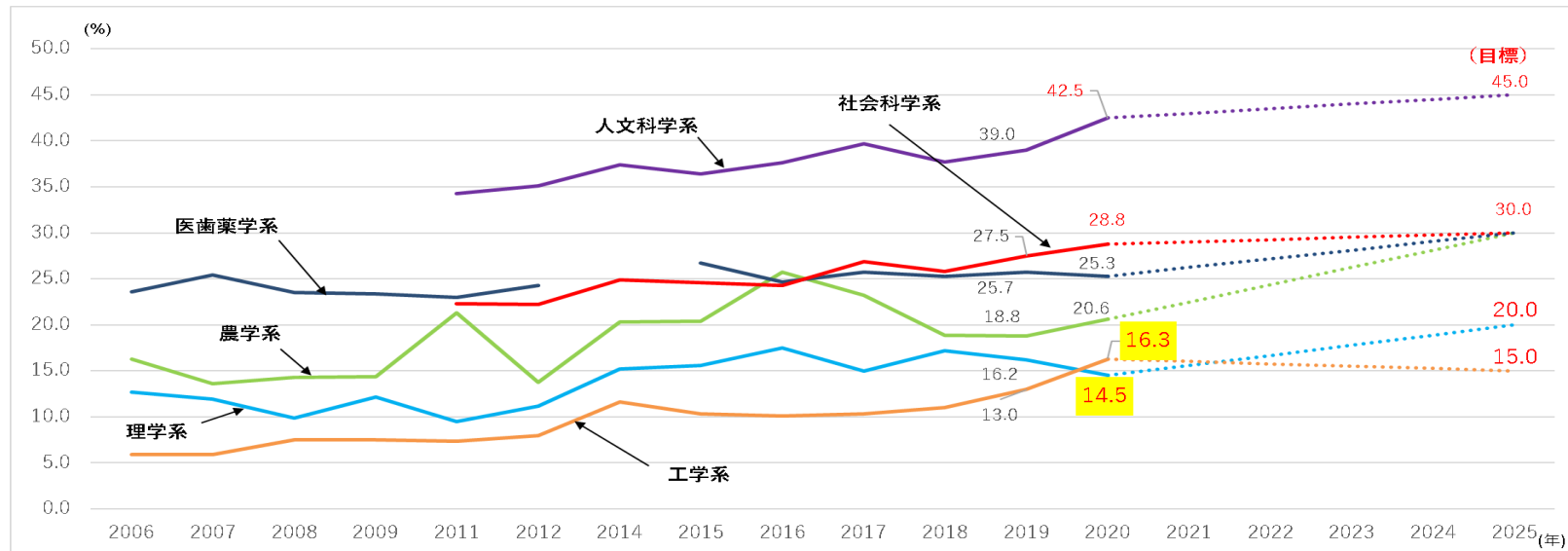
【工学系】



資料出所：文部科学省「教員統計調査」
 ※資料出所は、実績値の出所を示すもの。
 ※2023年9月1日現在2019年度が最新値。

第5次男女共同参画基本計画の成果目標と現状

②大学の研究者の採用に占める女性の割合

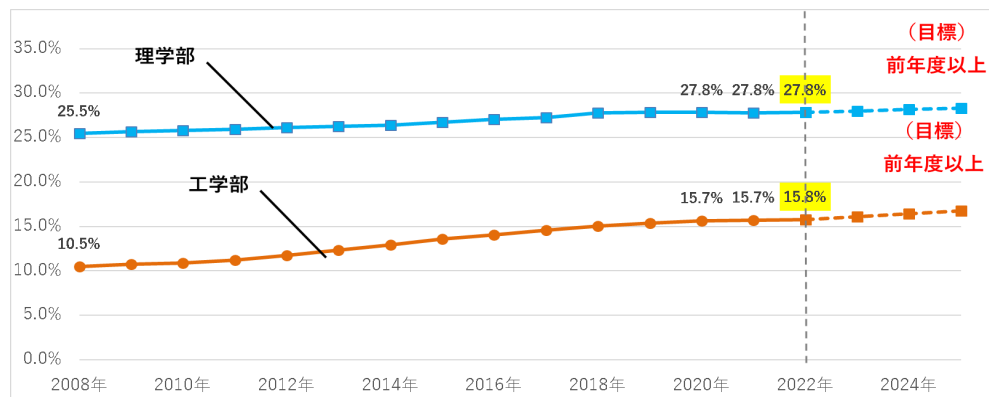


資料出所：文部科学省調べ

※大学が採用した教員（非常勤教員を除く）のうち、教授、准教授、講師、助教について集計。

※2014年は、「保健系（医学・歯学・薬学系）」と「保健系（その他）」を区別せず、保健系全体の数値を集計している。

③大学（学部）の理工系の学生に占める女性の割合



2022年度女子学生数	
理学部	22,141人
工学部	60,383人

資料出所：文部科学省「学校基本統計」（各年5月1日現在）

※資料出所は、実績値の出所を示すもの

理工チャレンジ（リコチャレ！）～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～ 取組概要



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年（2005年）より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。

取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和5年度実績 96団体162イベント実施（約6,000名が参加）

理工系女子応援ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

STEM Girls Ambassadorsによる理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

募集

リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学
- ・企業・学術団体等 **885**団体（令和5年10月現在）

理工系女子応援ネットワーク

- ・リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 **218**団体（令和5年10月現在）

若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業「新規」

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

ウェブサイト「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性（ロールモデル）提示等

調査研究

- ・女性生徒等の理工系分野への進路選択支援を目的とした各種支援策の調査研究、事例集作成
- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択を阻害するアンコンシャス・バイアスの払拭を目的とする研修用動画制作

ウェブサイト「理工チャレンジ」

【事業概要】

リコチャレ応援団体（※）の紹介、イベント等の掲載。そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。

※リコチャレ応援団体：885団体（令和5年10月1日現在）

団体数内訳（行政機関：53団体、企業：279団体、学術・研究機関等：140団体、大学等：367団体、その他：46団体）

理工チャレンジ

女子中高生・女子学生の理工系分野への選択

- リコチャレとは? What's Riko-challenge?
- リコチャレ イベント情報 event information
- 先輩からのメッセージ message
- 「リコチャレ応援団体」「理工系女性必読ネットワーク」の紹介 support group
- 「リコチャレ応援団体」「理工系女性必読ネットワーク」への参加 for university and corporation
- STEM Girls Ambassadors (理工系女性必読ネットワーク) STEM Girls Ambassadors

「リコチャレ応援団体」理工系女子応援ネットワーク」の紹介

▶団体別に紹介を見る▶企業別に紹介を見る▶



旭建設株式会社

宮城県日南町向江町1丁目200番地
 ▶旭建設株式会社 へ

組織概要

「便利になった」「近くなった」「安心して暮らせる」「ありがとう」ただその言葉をもたらすだけでいい。着実に得られる仕事。四方よし（地域よし、発注者よし、企業よし、未来もよし）を目指して、昭和34年以来真まじりに経歴を蓄かし、「土木の魂」を追求しています。「地域よし」として地域に貢献したボランティア活動（地域貢献活動）を、「発注者よし」として高品質の仕事を完了させ、「企業よし」として社員の人材向上を目指し、「未来もよし」として未来を担う子供たちにも気づきの心を育んでいます。当社は土木工事の施工管理を主な仕事として、建設計画・土木計画の技術者だけでなく、様々な学科の人材が活躍しています。そして「高に考える」の精神で、危険ゼロを目指し、安全と健康の確保を最優先としながら業務を行い、挑戦し続ける会社であり続けます。



（平成30年3月完成）南瀬河改良工事



（平成29年11月完成）理子田沼工事①

理工系分野・部門の紹介

当社は、鋼構や法面・護岸・橋梁・トンネルといった主に官公庁の土木工事一式を行う建設業です。暮らしやすい世の中にし、豊かな地域や国土を子供や孫の代まで残していくため日々仕事に励んでいます。当社の仕事は施工管理です。施工管理とは、工程管理や安全管理、品質管理などを現場で行い、発注者と打合せや現場での指導を行う現場管理や監査業務が主な仕事ですので、女性の技術者でも大いに活躍できる仕事です。現在では、多くの建設の企業で女性技術者が数年前に立って活躍しています。<<新人女性技術者の一日>>

入社2年目

酒井希実さん(23歳)の1日

9:30	起床
7:25	通勤バス乗車
7:30	朝礼、KY活動

朝礼参加は60分、30分、15分と段階的に短縮していき、15分程度で参加しています。

理工チャレンジ

女子中高生・女子学生の理工系分野への選択

- リコチャレとは? What's Riko-challenge?
- リコチャレ イベント情報 event information
- 先輩からのメッセージ message
- 「リコチャレ応援団体」「理工系女性必読ネットワーク」の紹介 support group
- 「リコチャレ応援団体」「理工系女性必読ネットワーク」への参加 for university and corporation
- STEM Girls Ambassadors (理工系女性必読ネットワーク) STEM Girls Ambassadors

先輩からのメッセージ

▶先輩からのメッセージのトップページへ戻る▶



酒井 希実さん

▶旭建設株式会社 工事部アセットマネジメント部門

2017年に入社し、工事全体の管理やICT関連業務など、現場に携わった仕事をこなす。土木現場として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木についての勉強をしたことはほとんどありませんでしたが、その分、日々新しい発見があり毎日が勉強で、充実した日々を送っています。

理工系分野を選択した時期・理由

短大2年生の時に、合同説明会で聞いた「地固に携る仕事」「地域の為の仕事」という言葉に感銘を受けて入社を決めました。自分の住んでいるところが自然に囲まれていることもあり、自然に携わる仕事がしたいと思ったこと、そしてずっと住んできた地元の為に関わりたい！そう感じたことも土木技術者の道に迷わずかけけになりました。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

橋を架けたり、道路を作ったり、様々な工程を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を随分で見られることも、現場に携わる人たちの特徴だと思います。そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場毎に関わる人が違う為、その都度新しい喜びを得ることが出来ます。「所労した分、達成感がある」建設業界にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ

『土木』と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事...そんなイメージをもたれる方が多いと思います。私もそう思うっていましたが、実際は3次元のデータを作成したり、業者の方と打ち合わせをしたり、対外的な仕事が大半を占めています。安全かつ期限内に工事が完了できる様々な仕事をこなしていく、それが建設業です。普段元気なく過ごしている時や道徳を、実際に作る側になってみると、ありがたいと思うことが増えました。前に担当していた現場では高速道路の舗装をつくる工事をしていましたが、その場所を通るたびに「私が関わった場所だ」と達成感を覚えます。私達の仕事は、今も未来も大切にするお仕事です。自分の大好きな地域を守り、支えていける建設業界と一緒にチャレンジしていきましょう！

さあ、この夏、ステキな理工系の未来を探してみませんか?!

内閣府・文部科学省・経団連共催

理工系に進むとどんなお仕事がある?!

夏のリコチャレ2023 理工系のお仕事体感しよう!

職場見学・仕事体験、女性技術者や研究者との交流など理工系の仕事や将来に携われるイベントを随時開催します。募集は見られない、ものづくりや建設の現場を見たりスキルを理工系女子の先輩の話を聞いたり！貴重な機会です！

イベント一覧

イベント登録 (イベントリストへ移動)

新着情報（事務局より）

▶お知らせ一覧▶

- NEWS 2023年7月7日 「遠くで人生どう変わる？理想で広がる私の未来2033」を公開しました。
- NEWS 2023年5月19日 「夏のリコチャレ2023～理工系のお仕事体感しよう～」特設サイトを公開しました。
- NEWS 2023年3月30日 女子生徒等の理工系進路選択を促すアンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画を公開しました。



お問い合わせ先

<パネル>



- ・内閣府のリコチャレイメージキャラクター「リコちゃん」パネル（黄、青、ピンクの3種類）
- ・3日間程度の貸出可能
- ・送料は利用者ご負担（着払い）

<動画ツール>



- ・ロールモデルとなる女性社会人のインタビュー動画
- ・理系進路選択への関心を高めるストーリー動画
- ・DVDまたはブルーレイのメディアの短期の貸出し
※送料はご利用者負担（着払い）

ご利用希望の際は、内閣府までお問合せください（数に限りがあり、調整させて頂く場合があります）

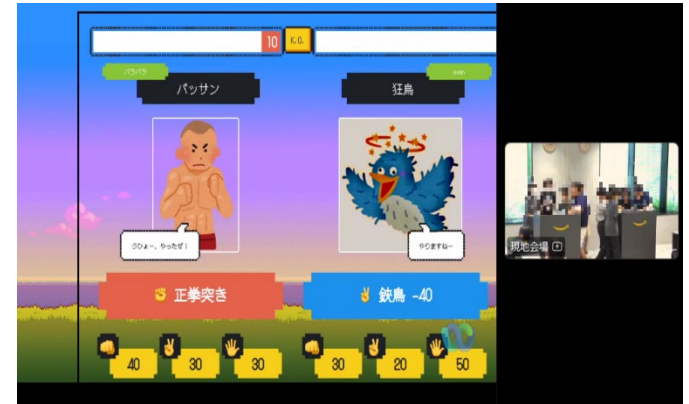
夏のリコチャレ2023 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

【事業概要】

- ・ 内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催で、夏休み期間を利用して行われる
- ・ 主に女子中高生等を対象とした、企業・大学・学術団体等のイベントを取りまとめて発信
- ・ **職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等**



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



クラウドで「作って」みよう！一日 IT エンジニア体験
(Advancedコース)
(Amazon 夏のリコチャレ実行委員会)

夏のリコチャレ2023 開催実績

参加団体数：96

イベント数：162

参加者数：6,300名以上

(アンケート提出58団体分)



電気通信大学匠ガールプロジェクト
「夏休みは電通大でラボ体験2023」
(電気通信大学)



建設技術の最先端を体験しよう！
(株式会社大林組)

理工系女子応援ネットワーク会議

【事業概要】

- 理工系女子応援ネットワークに登録した団体を主な対象として開催。取組に関心のあるリコチャレ応援団体と、自治体も参加
- 令和4年度は10月17日にオンラインで開催 89団体・131名が出席。
(令和5年度は10月25日にオンラインで開催予定)
- 事例紹介、取組情報交換、団体間ネットワーキング等、今後に向けた連携強化を行う

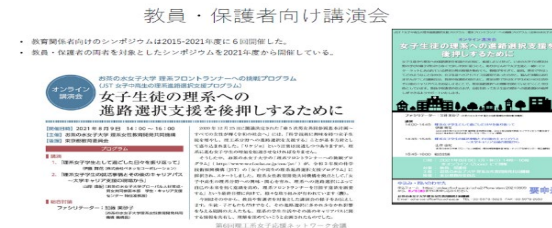
【令和4年度実績】

基調講演

お茶の水女子大学 理系育成啓発研究所

「女子中高生の理系への進路選択を後押しするために」

- * 女子生徒の理系進路選択を促すための教員・保護者向け講演会を実施していることのほか、附属幼稚園保護者対象のセミナーを開催していること等の紹介あり。



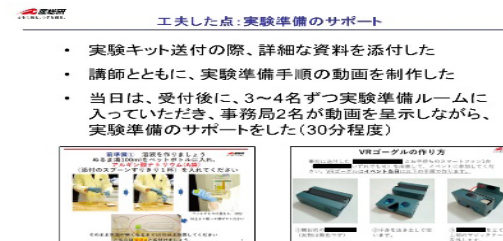
取組事例発表①

ライオン株式会社/兵庫県明石市
企業と自治体が協働し、オンラインと対面のハイブリッド方式での実験教室



取組事例発表②

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
オンラインでの人工イクラを作る実験やVR体験



グループディスカッション

イベント実施済みの団体からイベントや集客の工夫点の情報共有や、イベント実施に関する疑問点の質問確認、意見交換等

進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2023 動画公開セミナー（シンポジウム）

【事業概要】

- ・女子中高生、保護者、教員等を対象に、内閣府・文部科学省・JST・経産省の共催にて開催
- ・令和5年7月7日公開

進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2023 動画公開セミナー



基調講演

河野 銀子

KAWANO GINKO
学術研究院（地域教育文化学部担当）
教授

プロフィール
高校卒業まで徳島県内の海や川に面した地域で育ち、大学・大学院時代を東京で過ごしました。大学院の頃に休学して国会議員の秘書を務め、育児休業法制定のために議員と共に奔走しました。山形大学着任以来、四半世紀以上を山に囲まれて暮らしています。
専門分野は教育社会学で、とくに女子・女性の進路やキャリアの選択とその背景を分析してきました。女性校長や女性研究者等に関する共同研究の成果は本として出版しています。

理系で広がる
私の未来
2023



講演

榎間 由幸

URUMA YOSHIYUKI
米子工業高等専門学校 総合工学科
化学・バイオ部門 教授

プロフィール
2007年 大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了 博士（理学）
2007年 国立米子工業高等専門学校 物質工学科 助教
2013年 国立米子工業高等専門学校 物質工学科 准教授
2018年 ノースカロライナ州立大学 客員研究員 Prof. Lindsey
2020年 国立米子工業高等専門学校 総合工学科 化学バイオ部門 准教授（改組による名称変更）
2023年 国立米子工業高等専門学校 総合工学科 化学バイオ部門 教授

理系で広がる
私の未来
2023



理系で活躍する先輩による経験談発表

澤田 莉沙 SAWADA RISA

元 国立研究開発法人物質・材料研究機構 国際・広報部門
広報室 NIMS特別専門職

プロフィール
愛知県出身のサイエンスコミュニケーター。教育大学で理科教育を学んだ後、「科学を伝えるには、まずは自分がどっぷり科学に浸りたい」と考え、他大学の生物系大学院へ進学。お魚の体表模様について研究を行い、博士課程修了後に水族館の解説員として就職。自分の専門分野を超えた科学にも興味をもち、材料研究を行っている物質・材料研究機構に転職。その後、現職の広報室員として研究成果の広報活動や論文調査を行っている。

理系で広がる
私の未来
2023



塩田 佳代子 SIODA KAYOKO

Boston University School of Public Health ポストン大学公衆衛生大学
院Assistant Professor of Global Health アシスタントプロフェッサー
（国際保健）

プロフィール
国際保健・感染症疫学の研究者。東京大学獣医学専攻を卒業後、公衆衛生学を学ぶために渡米。エモリー大学にて公衆衛生学修士号を取得したのち、米国疾病管理予防センター（CDC）にて勤務し、感染症サーベイランスやアウトブレイク対応を担当。その後イェール大学にて感染症数理モデルを学び博士号を取得。現在はポストン大学にてアシスタントプロフェッサーとしてワクチン疫学や動物由来の感染症の研究に従事。世界保健機関（WHO）統計コンサルタントも務める。

理系で広がる
私の未来
2023



星野 歩子 HOSHINO AYUKO

東京大学 先端科学技術研究センター
細胞連関医科学分野 教授

プロフィール
2006年東京理科大学理学部卒業、2011年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了（生命科学博士取得）、2010年コーネル大学医学部小児科客員研究員として配属後、Postdoctoral Fellow(2011-2015年)、Research Associate(2015-2016年)、Instructor(2016-2019年)を経て、2019年よりコーネル大学医学部小児科非常勤助教。2019年東京大学IRCN 講師、東京大学卓越研究員、さきがけ研究員(兼任)。2020年ニューヨーク大学タンソン工科大学 バイオインフォマティクス高度専門士(バイオインフォマティクス)の学位取得。2020年東京工業大学生命理工学院准教授。2023年3月より東京大学 先端科学技術研究センター教授。

理系で広がる
私の未来
2023



木戸 智晶 KIDO CHIAKI

ソフトバンク株式会社Z/03-エネット デバイス技術本部
IoTデバイス統括部 技術開発1部 IoTデバイス技術1課

プロフィール
大学は法学部で、卒業後は営業・事務職を3年程度経験し、その後IT業界へ移りました。IT業界では10年程度仕事を続けていますが、ずっとモバイル通信の無線部分を担当しています。モバイル通信は3GPPと呼ばれる国際的な規格に則って動いているので、それをしっかり理解して正常に端末が動く様にする事、異なった動きをしていないかを判断する事が私の仕事です。

理系で広がる
私の未来
2023





【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。

ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、Ambassadorsからのメッセージ動画をリコチャレHP及び男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動



令和5(2023)年度イベント予定数 (※令和5年10月1日時点)

令和5(2023)年度イベント(予定)数	18イベント
令和5(2023)年度イベント参加(予定)者数	3,800名

令和5(2023)年度実施済イベント (※令和5年10月1日時点)

実施日	実施地域	イベント・派遣先学校名	参加者数(概数)
05/17	佐賀県唐津市	佐賀県立唐津東中学校	360名
06/30	佐賀県武雄市	佐賀県立致遠館中学校	360名
07/04	島根県 山陽小野田市	山陽小野田市立竜王中学校	200名
07/07	佐賀県武雄市	佐賀県武雄青陵中学校	360名
8/1,9,10	栃木県大田原市、 栃木市、宇都宮市	理工系の魅力発見 WORKフェスタ2023	120名
09/04	山口県萩市	山口県萩市立大井小中学校	30名
09/25	北海道釧路市	北海道釧路湖陵高校	190名

Ambassador一覧(令和5年3月時点) ※敬称略・五十音順

阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル インド現地法人 取締役会長
杉本 雛乃	学生(東京大学大学院工学研究科バイオエンジニアリ ング専攻・2018ミス・インターナショナル日本代表)
ズナイデン 房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、(株)steAm代表取締役
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事

令和2年度調査研究 男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

【事業概要】

教員等の指導者の方々へ向けて、

○男女共同参画の視点の必要性

○無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

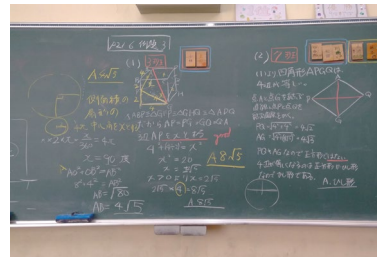
<無意識に行っている言動>

- ・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができて、すごいね」と言葉をかけている
- ・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

○男女共同参画に配慮した理数授業の事例

○教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する ▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部 ▲生徒が実際に行った板書発表の内容様子

⇒ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を发出し、文科省HPにリンクを掲載。

啓発資料

第3章：H頃のふるまいを振り返ろう

■第3章の目的

この冊では、読者が持っているアンコンシャス・バイアス（無意識に行っている思い込み）に自ら気づき、男女共同参画の視点を踏まえた授業の実現に向けたふるまひや生徒との接し方についてどのように改めると良いかを明確にするための活動を紹介する。
なお、本書の第2章「自分を知らう」に掲載していた「啓発資料」を補って読んでほしい。自身のバイアスに気づくための方法です。

『「啓発資料」を編んでみてください』の解説

自分が見た啓発資料の絵を、以下の欄で振り返ってください。

人物	性別	服装・髪
髪型	髪色	行動
	(どこにいるか)	(何をしているか)

○イギリスとアメリカの学校での活動を比較したところ、大多数の生徒が白人で、服装や髪、髪を巻いたり、髪を染めたり、髪を伸ばしているか髪を束ねたか髪を短くカットしているか、1+1=2のような簡単な公式が書かれた黒板の前にはいる様子を撮影した。

○近年の研究によると、社会の男女平等が進んでいるにも関わらず、女性を数学と関連づけて認識している人は男女とも非常に少ないということが指摘されています。また数学のみなさん啓発資料についても同様の研究結果が出ています。こうした状況を改善するには、理工分野における女性のロールモデルを周知し、適宜に啓発資料として認められた女性も価値ある課題をこなすことが重要であると考えられています。

振り返ってみていかがでしたでしょうか？ 啓発資料やその背景研究を基盤にした上、生徒と一緒に振り返って、新たな気づきを得ることができるとよいでしょう。
[キーワード] 男性領域/エンゲージメント

■指導者教育事例

2022年にオーストラリアのケヴィン州で公開された教員研修プログラムに掲載されている活動の中から、本書では啓発資料に関する以下の3つを紹介する。
これらの活動は他教科にも応用でき、特別に教材が必要なく、手軽に実施できるものばかりです。教員センターや各半信程度で実施する教員向け研修の材料としても取り入れてみてほしい。また、教員と生徒が一緒に取り組めるものもあるので、授業の一環として活用することも可能です。

No.	活動名	対象者	活動概要
1	エンゲージメント	教員	✓ 体系的に作成した生徒のプロフィールを見ながら、その生徒の得意分野について教員が発表する。
2	啓発資料に対する態度	教員・生徒	✓ 生徒に似たアンケートを実施し、教員が結果を分析する（生徒が結果を分析することも可能である）。
3	授業の観察	教員	✓ 教員が同様の授業を観察し、男女を公平に扱っているかチェックする。

出典：Kogut, et al. Gender and Mathematics Secondary Materials Issues in the Teaching of Mathematics, State of Victoria Department of Education and Training, 2020.



▲男女別グループでの実験の様子

令和4年度調査研究 女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>

Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・





●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

- ・実施時期：令和5年9月～令和5年12月（予定）
- ・実施地域：3地域（人口5万人未満の市区町村から選定）
 - 佐賀県基山町
 - 福島県喜多方市
 - 長野県阿智村
- ・参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）・保護者・教員・地域住民等
- ・参加者数：100名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）
- ・プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験（2～3時間程度）
- ・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等

